

まず IVUS には imaging catheter には機械走査式 (cvis や TERUMO, Galaxy) と電子走査式 (Volcano, Joemed) がある。発信周波数は前者が 30 ~ 40MHz、後者が 20MHz となっており、その特徴として NURD 現象が後者では見られないこと、IVUS ガイドワイヤーが見えないこと、そして malapposition が前者に比べてわかりにくいとされている。

このセッションでは、解離、血腫の判別について鑑別を学習し、さらに attenuation plaque といわれる ACS プラークの IVUS 像を検討できた。血腫 (hematoma) の IVUS イメージの特徴は血管の外側にあるヘルメット型の均一なイメージの血腫とその血腫に圧迫される血管のイメージであった。さらに intramural hematoma の場合には entry がありその部位では dissection 腔に流入する血液像を確認することができる。PCI に際してはこの血腫を高圧でバルーンングすると移動するので注意が必要である。Fibrous plaque, calcified plaque の違いは冠動脈外膜エコー輝度に比べ明らかに高輝度であるが、前者には音響陰影を伴わず、また後者の場合は治療抵抗性であることが多い。Flap dissection はプラークの破綻をさし、可動性があれば flap と呼ばれ全体的には dissection として総称される。言い換えれば、flap は可動性のある dissection を総称する。